

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 平成27年8月20日(木)
午後1時30分～午後4時7分
- 3 場所 第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 説明員 総務部長奥村邦夫、市民部長柴田義晴、健康福祉部長森山 稔、
建設部長西垣正則、消防長今枝幹夫、教育こども未来部長山田日出雄、
行政課長中村定秋、同主幹佐藤信次、同主査酒井 寿、協働推進課長小松
浩、同主幹竹井鉄次、同主査兼松英知、同主事林 高行、税務課長岡本康
弘、都市整備課長高橋 太、同主幹西村忠寿
- 6 事務局出席者 議会事務局長尾関友康、同主査田島勝己、同主事坪内裕紀
- 7 議長あいさつ
- 8 副市長あいさつ
- 9 報告事項
議長より説明員に質疑に専念してもらうために9月定例会に提出予定の議
案についてを報告事項の最後に行うことが諮られた。(了承)

(1) 岩倉市保育園送迎ステーション事業について

教育こども未来部長から別添資料のとおり説明が行われた。

堀 巖議員：送迎ステーションは市の施設なのか。

教育こども未来部長：小規模保育事業所を運営する曾野福祉会が1階部分を
賃貸で借りるので、市の施設ではないと考えています。

堀 巖議員：運営委託であり、市の介入はないのか。

教育こども未来部長：この事業は市が行うため、市に直接申し込んでもらい、
市が事業の委託を曾野福祉会に行う形になります。

堀 巖議員：利用料の決め方について、市の施設であれば、利用料を徴収
する形になると思うが、お金の流れにも市はかかわらないのか。

教育こども未来部長：曾野福祉会に徴収委託をしていきたいと考えています。

大野慎治議員：どこに駐停車するのか。

教育こども未来部長：岩倉駅のロータリーを南に行くとマンションの住宅1階部分に1台分の駐車スペースがあるので、そこを利用する予定です。

大野慎治議員：資料などがないと誰も理解できていないと思う。

教育こども未来部長：あの敷地の一番北側には商業棟ができます。その南に住宅が東西に向けて建ち、その一番東側の道路に面した部分に1台分の駐車スペースが確保されるため、そこに車両を止めます。

大野慎治議員：わからない。

宮川 隆議員：商業棟とマンションの間である。

大野慎治議員：図面なしで、わかるのか。

宮川 隆議長：前回、図面が出された時にも説明を受けているので、見てもらえば、わかると思う。

黒川 武副議長：図面はまだ出ていないと思う。

塚本秋雄議員：名鉄の説明では出た。市からの説明はない。

宮川 隆議長：私の認識違いであった。設計としては確定しているのか。

建設部長：マンションの方は確認もあり、建設着工しています。

(発言する者あり)

建設部長：建設の承認可は愛知県であり、書類もそちらの方にありますが、岩倉市の方からご提示することはできません。岩倉市で用意すると名鉄主催の地元説明会が建設着工前にありましたので、その時の資料はすでに公表されているため、ご提示できます。

大野慎治議員：20平米の6坪弱のスペースがどこにあるかは説明資料がないと誰もわからない。

黒川 武副議長：山田部長の方で曾野福社会と協議はしていると思うが、その時に図面などは出ていないのか。

教育こども未来部長：もらっていますが、あくまでも名鉄が賃貸で貸すという図面であるため、出してもよいのかわかりません。地元説明会で出された資料ならば、出せます。

黒川 武副議長：事業者である名鉄が地元の人に行った説明会の時に出した資料なら出せるということか。

建設部長：それならば、公表されていますので、大丈夫です。

黒川 武副議長：その資料は、大野議員が求めている小規模保育所と送迎ステーションの位置はわかるのか。

建設部長：ステーションという名称は入っていなかったよう記憶しています。

また、質問も出たように記憶していますので、このスペースはどういう用途で使うんですかと、わかってみえたが、あえて質問されたと印象深く残っているため、記載はないです。駐車場の位置もその時出されたものがそのまま生きているかどうかの確認はとれてませんので、不確定な部分があります。

黒川 武副議長：山田部長の持っている図面が今は出せないのならば、どのような条件を整えば、出せるのか。

宮川 隆議長：大野議員が求めているものが建物の詳細な設計などではなく、位置がわかればよいため、説明会で出された平面図で十分対応できると思う。

(発言する者あり)

宮川 隆議長：私の認識では、地元説明会の時はエントランスなどや屋根はどうなるのかが未確定であると説明されたと記憶している。どのような設計がされているかは地元説明会の時点では示せないと思うが、全体の敷地の中のどの位置を占めるのかは名鉄から出された資料で対応できると思う。

教育こども未来部長：今、探していますので、あとで説明します。

相原俊一議員：平成 27 年 10 月から利用者を受け付けるが、希望者は全員受け入れるのか。抽選になることや毎月変わることもあると思う。

教育こども未来部長：事業の規模数はおおむね 20 人以上が補助対象になっています。国の方に最初から 20 人いなくてもよいことは確認しています。基本的にどなたでもよいということではなく、園が遠い方や岩倉駅を利用して通勤される方などです。運行能力を超えるお申込みがあった場合には優先度を判断しながらやっていくことになります。また、どこまで利用があるのかというニーズの把握はしづらいが、以前、平成 25 年度に子ども・子育て事業基本計画を策定するためのアンケート調査で、1 項目入れたところ、10 数%の方が利用したいという回答でしたので、それなりに利用してもらえと思っています。

関戸郁文議員：2 台車両を午前 7 時 30 分から午前 9 時 30 分までの 2 時間でどのように動かし、何人くらい人を動かせる見積もりなのか。

教育こども未来部長：定員としましては、12 人と 7 人でありますので、それがいっぱいです。しかし、ステーションに来る時間がバラバラになるので、一度に 12 人が来るわけではないため、ある程度の人数が集まりましたら、岩倉駅の北部にある保育園に向かうなど放射状的な運行経路になると思います。

ます。ただ、どの園の方が利用するのかわかってきますので、その都度その都度で運行経路が変更になると思います。

関戸郁文議員：経路についての質問ではなく、2時間で何人を動かせる見込みを持っているのか問いたい。

教育子ども未来部長：定員から言えば20人です。何往復するのかについては、どこの園まで行くのかわからないため、申し込みがないと決められません。2台で2、3往復はできると考えています。

梅村 均議員：送迎車両は曾野福祉会でよいのか。

教育子ども未来部長：岩倉市がリースを受けることとなります。

梅村 均議員：もし、途中で事業が終わってしまった場合、リース代は残るのか。

教育子ども未来部長：5年契約の予定です。もし、それ以前にやめる場合のリース代は残ります。

梅村 均議員：運行内容で常時保育士1名の同乗であるが、何人に対して1名と決めたほうがよいのではないか。

教育子ども未来部長：ステーション事業であるため、保育園の保育士の配置基準は適応されません。国のほうも保育士の同乗という形式しか採っていません。また、12人程度の子どもであれば、1人の保育士で大丈夫です。

梅村 均議員：送迎は短い時間であるかもしれないが、子どもが飽きないような工夫などは想定していないのか。

教育子ども未来部長：時間は最大でも30分程度のため必要はないと考えています。

相原俊一議員：車両のナンバーは、白ナンバーであるのか。白ナンバーは2年で車検となり、5年間のリース契約ならば車検代がもたないのではないか。

教育子ども未来部長：車検も含まれる5年契約です。

堀 巖議員：他市だと車両自体を公の施設と位置付け、その使用料をとるところもある。その観点から、先ほどの利用料を送迎保育ステーションを

利用するのではなく、くるくるい〜わ号を利用するという考え方に立ったとして、その辺の料金とくるくるい〜わ号の性質は明らかにしてもらいたい。

教育こども未来部長：スペース部分の利用もあるため、スペース部分の利用と車両の利用に対する利用料となっています。

堀 巖議員：どのような条例でうたうのか。

教育こども未来部長：条例でうたうことは現在考えていません。

塚本秋雄議員：(2)の運行内容で、保育士1名が同乗するようだが、市が保育士2名を雇い、乗せるということではよいか。

教育こども未来部長：運営の委託については、曾野福祉会にお願いするため、保育士を委託料の中で曾野福祉会が雇用します。

大野慎治議員：送迎ステーションを利用できる定員は最大で20名なのか。

教育こども未来部長：最大で20名ではありません。登録者数としては20人が国の補助要件になっています。今の配車であれば、20人以上は可能になると思います。一度に全員を送迎するわけではありません。

大野慎治議員：12人乗りにチャイルドシートがいくつあれば、1台で済んでしまうのではないかと。2台必要なのか。

教育こども未来部長：北部の方に行く、南部の方に行くということで、方向が違います。また、子どもの待ち時間が増えてしまうため、2台で配車を考えていきます。

大野慎治議員：現実的に9時30分に駅に行く人は保育園に送っていただける方が多いと思う。実質は8時30分までには終わるのではないかと。

教育こども未来部長：実際はそうなると思います。しかし、国の要件として、1日5時間以上の開所があります。他市を参考にし、午前2時間、午後3時間の時間設定をしました。

教育こども未来部長が地元説明会で出された図面をもとに停止位置について説明をした。

黒川 武副議長：使わない時は、車両はどこに止めるのか。

教育子ども未来部長：使わない時は市役所の駐車場に止めます。

(2) 広報紙リニューアルについて

協働推進課長から別添資料のとおり説明が行われた。

8月15日号の広報で市民周知を行ったが、議員への報告が遅れたことについてお詫びがあった。

宮川 隆議長：紙面が制約されるため、綴り穴をあけないのか。

協働推進課長：15日号はお知らせ版でありますので、ボリュームがなくなります。その分1日号のボリュームが増えるため、穴をあけるとその分記事が載せられないということもあります。また、穴をあけるとずれることもありますので、綴り穴をあけませんが、ご自宅で穴をあけられるように工夫をこらしたいと思います。

黒川 武副議長：取材にあたるのが職員だけでは大変であると思う。また、職員だけやってしまうと同じ感性になってしまうかもしれないので、市民の感性取り入れるためにも市政モニター等にも参加してもらうことは考えているのか。

協働推進課長：特集記事を今後月に1回行っていくことは職員にも作業的に負担が増えると考えています。市民の皆様のお力をお借りし、協働しながらやっていけたらよいと考えています。すぐにはできないかもしれませんが、少しずつやっていきたいと思っています。

木村冬樹議員：議会だよりについてはどのような検討がされているのか。穴をあけなくなるだけなのか。

協働推進課長：議会だよりも綴り穴はあけなくなります。それ以外の検討はしていません。

木村冬樹議員：ページによって横書き、縦書きで違うのが読みやすいのか。

広報紙の研修について、市はどうしているのか。

協働推進課長：細かくどこの研修に行っているのかここでお答えはできませんが、市町村アカデミーの研修に機会があるごとに職員を派遣しています。縦書き横書きについては、特集記事は右開きになりますので、縦書きを基本としたいと思います。そして、目次や市民憲章等は横書き、市政通信は縦書きと横書きを併用します。情報コーナーについては横書きで考えてい

ます。今回、さまざまなことを検討する中で、縦書きが読みやすい、横書きが読みにくいということも最近ありませんでしたので、縦書き横書きの併用については数字が多い場合は横書きで構成していきたいと考えています。

木村冬樹議員：基本がどちらかは決めておくべきであると思う。ページをめくっていくたびに読みやすさは追及される。情報コーナーが横書きであるが、ちょっと読みづらさを感じた。

協働推進課長：今まで縦書きだったものが、横書きに変わったため、読みにくいという印象が残る場合もあります。逆に、読みやすくなったと言われる方もいますので、リニューアルを機会に一度どのような反応があるのかなど試みが必要であると思います。多くの方が読みにくいということであれば、改善し、より読みやすい広報紙となるように工夫を行いたいと考えています。

木村冬樹議員：基本はどちらの書き方にするかを決めてほしい。

宮川 隆議長：今後の検討課題として、絶えず前に前に進んでほしい。

大野慎治議員：文字のサイズが小さすぎると思う。文字サイズが小さかったり、行間が狭いと高齢者が読まなくなるので、文字のサイズは一定の配慮してほしい。

協働推進課長：本日のサンプルはできるだけ現行の広報紙に合わせようとユニバーサルフォントという特殊な文字フォントを使用したため、実際の広報紙とは文字フォントが異なるので、見え方が違います。実際には現在の広報紙と同じ字体でサイズとなります。読みづらいなどの声をいただいたら、その都度文字を大きくするなどの検討を行いたいと思っています。

(3) 野寄町及び川井町における土地利用方針〔工業系〕(案)について
都市整備課長及び同主幹から別添資料のとおり説明が行われた。

大野慎治議員：天保橋から北の岩倉西春線の整備が必須条件であると思うが、この計画についてはどのように考えているのか。

都市整備課主幹：企業庁に話に行った中では、天保橋から北に延びる岩倉西春線の用地買収が終わっていることが好ましいとのことでした。終わっていないければ、道路が東に一本ぬけない状況なるため、現在行っている北島

藤島線の事業を今後どうするかなど地元の意向も踏まえて考えていきたいと思えます。

堀 巖議員：この場所は多大なる税金が投入されて土壌改良工事を行った場所であり、都市マスタープランにかかわる問題になると思う。岩倉市は優良農地を将来的にはつぶすということに理解してよいか。また、農政担当もそれで納得しているのか。南部保存化計画や野寄町のタウンミーティングでも市はまだ死んでいないとの発言しているため、もしこの方向に行くのならば、過去のものをやめたとはっきり言うべきであると思う。そのあたりの全体の考え方を聞きたい。

建設部長：私も今言われたとおりであると思えます。愛知県の方とも協議しています。まず農地サイドは、農業振興として優良農地を残していかないといけないという姿勢です。一方、市の事情として農業振興のことは考えなければならないですが、地域の住民の方の意見をお聞きしても高齢化や後継者不足で実際に農地を優良の状態でも今後保全していくための手法があれば考える必要もあると思えます。しかし、今の状況ではとても難しいため、将来の方向としては工業系の都市開発に転用するしかないという意見があります。市のそのような背景や周辺の市町からも遅れていることから、企業を誘致し、町の活性化を図るため、農業振興ではない道でやっついこうというのが市の方針です。農業振興整備も次回の時にこの計画が進み、具体化したら、見直しをしなければならないと考えています。次回の総合計画や都市マス等の見直しの時期には、今は将来の企業誘致のゾーンとして考えるという表記の仕方をしてはいますが、もう少し進んだら、もっと具体的な表記になると思えます。市としても口だけで農業振興と言っても仕方がないので、企業誘致の方にシフトしたいと考えています。また、正式な農業振興の協議会等ではこの状況は説明していませんが、協議会や農業委員の役員、会長や副会長には農業振興に逆行するような選択ですが、このような形で進めていますとは報告しています。

黒川 武副議長：地元でも志のある人たちがこのままでは農地そのものの死に絶えてしまうということで将来に向けて方策を考えなければならないと地元は地元で考えている。特に川井町のところは電柱もなく条件が厳しい。また、インターから1kmを超えてしまったため、道路の幅の問題についても北島と同様に考えることができない。しかも、地元の開発で進めようとする選択の幅も狭くなってしまふ。県の企業庁は用地誘致事業を専門と

するところというのはわかるが、中部国際空港のところが進出してきたら100%企業が進出してくるわけで、しかも大きく構えている。それを融資の段階だけでやれば5000坪から6000坪単位になるわけで、10万ヘクタールの全体を全部できるわけではないため、行政の担当が細かく県とかなり折衝しながらやり、よく話を持ってきてくれたなど努力には感謝するが、まだまだ地元では市は口ではさまざまなことを言うだけだと疑問を持っている人がいる。また、市に相談に行っても、具体的なことではないと答えてもらえない、一般論でしか答えてもらえないという思いを持っている人がいる。しかし、ようやく市が前面に立ち、地元と協力してやっていく姿勢ということでよいか。また、説明会では、不満等が出てくると思うが丁寧に説明し、一緒にやっていくことを皆さんにわかってもらえるようにすることが大切であると思う。

(4) 9月定例会に提出予定の議案について

各部長から議案について順次説明が行われた。

堀 巖議員：算定結果を示すのならば、「-」ではなく数字を載せるべきではないか。法律で「-」にしなければならぬと決まっているのか。

行政課長：全国的に「-」を使用しています。

宮川 隆議長：算定結果を前年と比較したいので、数字を示すように申し入れを4年前の議長から行われていると思う。わかれば、この場で数字を教えてください。(議案説明資料参照)

堀 巖議員：条例の一部改正については、改正理由が記載されているが、請負契約の変更は理由が記載されていないので、説明資料に記載してもらいたい。

建設部長：検討します。

木村冬樹議員：学校給食センター給食調理及び配送業務委託料の期間を3年間と言っていたが、言い間違えなのか。

総務部長：債務負担行為の平成27年の予算は今年度の予算で計上しているので、債務負担は翌年度からかかる予算額ということで平成28年から平成31年の3年間と言いました。

教育こども未来部長：平成28年8月から平成31年7月までの36カ月、3年

間になります。

黒川 武議員：一般会計と国民健康保険特別会計の補正後の繰越見込み額は
いくらなのか。

総務部長：一般会計の9月補正後の留保財源は3億8,500万円になります。
国民健康保険特別会計については1億3,550万円くらいになります。

(5) その他

なし

10 協議事項

なし

11 その他

(1) 8月25日市民参加条例検討特別委員会について

宮川 隆議長：午後1時30分の冒頭部分を使い、8月6日に開催された防災
会議の議題であった地域防災計画の見直しの改正部分についての説明のため
に全員協議会を行う。

なお、通知文及び関係資料については、近日中に示す。(了承)

(2) 8月30日の防災訓練について

別添資料を配布し、議会事務局主査から説明が行われた。